

平成27年6月25日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役 谷 直 樹
(コード番号：4579)
問 合 せ 先 常務執行役員 河田 喜一郎
(TEL. 052-446-6100)

アシッドポンプ拮抗薬の日本における新規用途に関する特許査定のお知らせ

アシッドポンプ拮抗薬 (Potassium-Competitive Acid Blocker : P-CAB) の用途に関して当社が出願しておりました特許 (出願番号2011-521969) は、これまで審査中でありましたが、この度、日本で特許査定*を受けましたのでお知らせいたします。

今回の特許発明により、アシッドポンプ拮抗薬の消化管運動に関する新しい用途が見出され、消化管機能調整剤、または消化管運動賦活化剤として使用する権利が認められました。本特許の権利範囲には、既に発売されているボノブラザン (タケキャブ®)、および現在または将来開発されるアシッドポンプ拮抗薬を広く含んでおります。

アシッドポンプ拮抗薬は、カリウムイオン競合型アシッドブロッカー (P-CAB) とも呼ばれる新しい作用機序の胃酸分泌関連疾患治療剤で、現在、国内の消化器内科で注目を浴びています。胃食道逆流症 (GERD) 治療薬として現在の第一選択薬であるプロトンポンプ阻害剤 (PPI) とは異なるメカニズムで、PPIよりも速やかにかつ持続的に胃酸分泌を抑制します。したがって、PPIでは十分に胃食道逆流症の症状が改善されなかった場合でも改善効果が期待されます。さらに、今回の発明により、機能的胃腸症など他の消化器疾患の治療薬となることが示されました。

当社は平成22年9月にCJ第一製糖株式会社 (現：CJヘルスケア株式会社、本社：韓国ソウル市、社長：郭 達源、以下「CJ社」) とアシッドポンプ拮抗薬について東アジア地域を対象にライセンス契約を締結し、平成26年11月には新たに東南アジアを対象としたライセンス契約を締結しております。当社のアシッドポンプ拮抗薬 (化合物コード：RQ-00000004) は、現在、韓国において、CJ社による第Ⅲ相臨床試験が進められており、当社では米国における第Ⅰ相臨床試験が終了、また日本においては第Ⅰ相臨床試験の投与を終了し、総括報告書の作成を進めております。

当社は、今後も引き続き、アシッドポンプ拮抗薬の他の国々での知的財産の強化に注力してまいります。なお、アシッドポンプ拮抗薬につきましては、現在、提携に関する協議を開始しており、今後本事業年度内の導出に向けて協議を加速してまいります。

なお、本特許査定により、平成27年12月期 (平成27年1月1日～平成27年12月31日) の当社業績への影響はございません。

以 上

<ご参考>

【特許査定について】

各国特許庁の審査によって「特許権を与える価値がある出願発明である」と判断された場合に示される評価です。特許査定後に特許料を納付することによって、登録特許となり、該当する国において特許権が発生することになります。